

第1回おだわら高齢者福祉介護計画策定検討委員会議事録

日時：平成23年5月27日（金）

午後1時30分～2時30分

場所：小田原合同庁舎 2F会議室

出席委員 太田証史委員、加藤馨委員、加藤信次委員、川上聖嗣委員、◎木村秀昭委員、
杉崎勲委員、竹村隆夫委員、長谷川剛委員、羽鳥孝郎委員、堀内勇委員、前田程一委員、
目良幸子委員、○渡邊清治委員（◎：委員長、○：副委員長）

事務局 福祉健康部長、福祉健康部副部長、高齢介護課長、高齢介護課副課長、
高齢介護課高齢社会係長、高齢介護課主査

欠席者 村島恵委員

傍聴者 2名

【議事】

議題1 委員長及び副委員長の選出について

事務局

（説明）

- ・資料3「おだわら高齢者福祉介護計画策定検討委員会設置要綱」の第4条に基づき、委員長1名、副委員長1名の選出について説明。

加藤（馨）委員

（意見）

- ・事務局からの提案を求める。

事務局

（説明）

- ・委員の賛同を得たことにより、委員長に木村秀昭委員、副委員長に渡邊清治委員を選出する。

議題2 会議の公開について

事務局

(説明)

- ・資料4「おだわら高齢者福祉介護計画策定検討委員会の会議の公開に関する要領」をもとに会議の公開と傍聴者の入室について説明。
- ・出席委員全員の承認を得たことにより、部屋の外で待機していた傍聴者2名の入室を許可する。

(質疑なし)

議題3 おだわら高齢者福祉介護計画について

事務局

(説明)

- ・資料5「おだわら高齢者福祉介護計画について」をもとに、計画の目的、計画の位置付け等について説明。

(質疑なし)

議題4 検討の進め方について

事務局

(説明)

- ・資料6「おだわら高齢者福祉介護計画策定検討委員会検討の進め方(案)」をもとに、今後の策定検討委員会の予定、国・県の動き等について説明。

(質疑なし)

議題5 高齢者の実態調査及び介護保険実態調査の報告

事務局

(説明)

- ・本日配付した「小田原市高齢者実態調査及び介護保険利用者等調査 調査結果報告書」をもとに要点のみに絞って説明。

加藤(信)委員

(質問)

- ・18ページの問12において、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域包括

ケアの推進とあるが、地域包括ケアの概念についてはどこかに記載または高齢者に周知はしているのか。

事務局

(回答)

- ・地域包括ケアの概念については、特にアンケートの中では説明をしていない。報告書に記載してあるとおり、「高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるもの」と解釈している。

川上委員

(質問)

- ・この調査は高齢者を対象としているが、高齢者を介護する家族がどう考えているのかという調査はしているのか。

事務局

(回答)

- ・今回は高齢者の家族を対象とした調査は行っていない。

川上委員

(意見)

- ・施設整備をする上でデリケートな課題であり、介護を受けている人と、介護をする人との意向には違いがあり、介護をする人の意向も反映させる必要があると思う。

竹村委員

(質問)

- ・14 ページの問 10 において、災害時についての不安や悩みが多くなっているのは、3月11日の地震の影響によるものなのか。

事務局

(回答)

- ・調査票は3月15日に発送しているので、その影響はあると思われる。

堀内委員

(意見)

- ・172 ページの問 41、42 において、認知症の人は介護度が低く出してしまう傾向があるので、この策定検討委員会では認知症の人のことも検討してほしい。

加藤（信）委員

（質問）

- ・この調査結果はどのように反映させるつもりなのか。

事務局

（回答）

- ・議題3でも説明したとおり、高齢者福祉施策や介護保険事業等で反映させていきたいとは思っているが、国や県の指針等にも従わなければならないし、調査結果だけでなく委員さんのご意見も反映させたいと考えている。

加藤（信）委員

（質問）

- ・平成19年度調査結果との差は反映させるつもりなのか。

事務局

（回答）

- ・特に数値が悪化しているものについては反映させていきたいと考えている。

議題6 その他

事務局

（説明）

- ・第2回策定検討委員会は7月28日（木）の午後で調整したいと考えている。

以上